



1996年日本消化器関連学会週間

(DDW—Japan 1996 Kobe)

消化器関連9学会が合同で開催

4月18～20日



DDW—Japan 理事長
崎田名譽教授

が、四月十八日(木)～二十日(土)の三日間、神戸国際展示場、神戸国際会議場、ワールド記念ホール、神戸商工会議所会館、神戸ポートピアホテルを会場として開催される。この学会週間は、個々に行われていた消化器関連の学会を、医療の高度化による学会の多極化がもたらした時間的・経済的問題をスリム化し、各領域の精選されたものにするため、一九九三年に初めて合同で行われた。

神戸では、初回、第二回を

開催。四回目を迎える今回は、震災復興の意を込めて主催者のご尽力により再び開催される運びとなった。

今回は、全面参加の日本消化器内視鏡学会、日本胆道学会、日本消化器病学会、日本膵臓学会、日本肝臓学会の五学会と、日本消化器外科学会、日本大腸肛門病学会、日本消化器集団検診学会、日本消化吸収学会の部分参加のもの、会期も三日間に短縮され、より効率的でアカデミックな討論が展開されるものと期待されている。

会議では、合同企画として内外講師による招待講演や国際リサーチフォーラム、シンポジウム、パネルディスカッションなどが予定されているほか、それぞれ各学会に分かれての総会、研究発表なども同時に組み入れられている。

一万人を超える関係者が神戸に集う

合同企画として内外講師による招待講演や国際リサーチフォーラム、シンポジウム、パネルディスカッションなどが予定されているほか、それぞれ各学会に分かれての総会、研究発表なども同時に組み入れられている。

主な合同企画の概要

- 会長講演**
消化管粘膜損傷と修復におけるMolecular Bio-Dynamics 小林 絢三
- 国際リサーチフォーラム**
粘膜免疫系を介した免疫制御の意義
- 招待講演**
Cellular and molecular mechanisms of ulcer healing-Role of growth factors and angiogenesis state of the art 1996 A.Tarnawski
- シンポジウム**
 - アルコール性肝障害の現状と問題点
 - Gastritis and H.pylori infection(Kobe)
 - ウイルス肝炎における肝細胞障害機序

- 胆・膵疾患における分子生物学的研究とその臨床応用
- 早期胆嚢癌の診断 表面型早期胆嚢癌の診断をめざして
- パネルディスカッション**
肝移植—実施にむけての医学的課題と将来
- 胃炎 その新しい展開
- プレナリーセッション**
 - 内視鏡、胆道
 - 胆・膵、膵臓、下部消化管
 - 肝臓
 - 上部消化管
- 宿題講演**
腹腔鏡による慢性肝炎の予後診断 浮田 實

開催にあたって
広報担当 大井 至

日本肝臓学会が参加 協調と謙譲の精神で運営

震災の後の規模のDDW Japan 一九九六が、神戸で開催できるか主催者としては初め多少の危惧の念を持ちましたが、神戸っ子の不屈の気骨に支えられた復旧により、今日では何の心配も無くなりました。このような大規模な学会が、神戸で行われることが、大震災を受けた方々に精神的、かつ間接的な経済的援助となれば幸いと考えております。

本年は、日本肝臓学会が全面的に参加することにより、発表演題数が増えたにもかかわらず、学会運営をよりスリムにというDDWの精神に則って、各学会の協調と謙譲の精神により、各学会間の主題や一般演題の重複を徹底的に避け、しかも各学会とも発表演題の審査を厳しくし、専門分野の発表はその分野の学会で行うという英断を下しました。これらの努力により、DDW Japan 一九九六は三日間の日程で行われ、更に、参加費も五千円減額することにしました。これらは、より多くの各学会会員に参加してもらいたいと考えてのことです。

DDW Japanは、参加各学会の主体性を尊重することを基本理念としており、まだ、様々なテーマがあります。DDW Japan 一九九六は、演題数の多さやタイトな日程などまだ問題を残しておりますが、参加諸氏はよくプログラムを見て自ら参加するチームを決めて定めて頂きたいと希望いたします。

特集

「神戸で会議を」(1)



日本銀行本店
電算情報局長
(前神戸支店長)

遠藤 勝裕

私は今、「神戸復興支援！何かを」支店会」の幹事役を仰せつかった。この会は神戸に支店や事業所を置く企業の支店長等で構成され、現在、百五十三事業所、約三百人がメンバーとなっている。震災後間もない四月に発足した。この四月に発足した。この四月に発足した。この四月に発足した。

神戸を見て学んでもらうことに価値がある

「神戸復興支援！何かを支店会」の活動から—
ただ地元一つ苦言を呈したい。商店街にしろ、サービス産業にしろ訪れる人に対する必死の姿勢というものがみえてこないことである。夜の商店街の寂しさは何なのであろうか。私の呼びかけに同じ当を訪れる友人達が「様に口にするのは正にそのことである。」

昼間の単発的かつ自己満足的なイベントだけではなく昼夜を分かたぬ地道なサービス精神、街を賑わす努力も併せて求めたい。ルミナリエの成功は一つの方向を示唆しているといえよう。

遠藤勝裕氏略歴 昭和二十年東京都生まれ。昭和四十三年早稲田大学政経学部卒業、日銀へ。平成二年青森支店長、四年考査後、六年五月神戸支店長、八年三月二十五日付で本店電算情報局長。七月一月灘区の社宅で震災に遭遇。震災後沈滞する神戸経済の復興には第三次産業が重要、と神戸に支店や支社を持つ事業所に呼びかけ、「神戸復興支援！何かを支店会」を結成。近著に「阪神大震災—日銀神戸支店長の行動日記」(日本信用調査(株)出版部刊)。

THE 1996 JET PROGRAMME RENEWERS' CONFERENCE

5月22～24日
JETプログラマは、「語学指
導等を行う外国青年招致事業」
(The Japan Exchange and Teaching
Programme)の略称で、地方公共団
体が、自治省、文部省、外務省及
び(財)自治体国際化協会の協力
の下に実施しています。
この事業は、外国語教育の充実

開催にあたって
財団法人 自治体国際化協会
理事長 森繁一

語学指導等を行う
2,500人の外国青年が参加

二十八人の青年が
招致され、都道府
県庁・市町村役場
等において地域の
国際交流事業等に
従事する国際交流員として、また、
中学校・高等学校等で語学指導に
従事する外国語指導助手として、



第16回 日本静脈学会総会

5月9～10日
近年、静脈疾患に関し
て高い関心が払われるよ
うになってきました。
本学会では、「静脈学
の進歩」をメインテーマ
として掲げ、静脈に関す
る種々の問題を十分に
クローズアップして頂く
ために、十四にも及ぶ多
数の特別企画を盛り込みま
す。会場講演は「静脈灌流障
害に対する外科治療の役割」と題

開催にあたって
会 頭 岡田 昌義
(神戸大学医学部
第二外科・教授)



して、生命に直結する上、下大静
脈の灌流障害や深部静脈における
病態生理と外科治療について静脈
弁の移植術を含めて論述すること
にしております。
また、招請講演としては、ドイ
ツから一名(Dr.H.K.Tegai, Dr.H.W.
Kinneyer)、米国から一名(Dr.V.
S.Souman)、ギリシャから一名(Dr.
D.Christopoulos)の計四名による
Budd-Chiari症候群や静脈弁不全
などの静脈疾患に対する診断や治

療法を中心としたトピックスの
数々が浮き彫りにされます。また、
教育講演の二題では、「静脈血栓症
と肺塞栓症」や「人体における静
脈系の役割」についての詳細な報
告がなされます。
さらに、シンポジウムとしては
四題を取り上げましたが、脳外科
領域、上大静脈症候群、門脈圧亢
進症や深部静脈弁不全などについ
て各々の領域でのポイントと問題
点に関する討論が展開されます。
一方、パネルディスカッション
としては二題予定しております。
その一つは下肢静脈瘤の硬化療
法、他の一つは静脈の解剖、生理
の基本と治療法の対策であります。

四極貿易大臣会合を神戸で開催

4月20・21日
回世界貿易機関
(WTO)
会議に向けた意
見調整が行われ
るほか、規制和
平化や、E.U.、
アジア太平洋地
域レベルの取組
みなど、幅広い
分野にわたる問
題が議題となる
模様。

Convention Stage
HOTEL GAUFRES RITZ
TEL(078)303-5555

国際シンポジウム
アジア・太平洋新時代の人と文化

5月18・19日
国際文化学の課題と展望

学部の発足5周年を迎えて
開かれた国際文化学部の目指す
開催にあたって
シンポジウム実行委員会
委員長 田中 雅男
(神戸大学国際文化学部長)



公式首脳会議が、さらには、この
三月、タイの首都バンコックで初
めてのアジア欧州首脳会議(ASE
EM)が、開かれました。この会
議には、アジアから十、ヨーロッパ
からはEUと十五の国の代表が
参加し、植民地と宗主国の代表が
一堂に会するという歴史的な場と
なりました。
今回のシンポジウムは、そのよ
うな世界の注目を集めているアジ
ア・太平洋地域につい
て、とくに「人と文化」
という視点から、その
現状と将来を考えよう
とするものです。歴史
学、文化人類学、社会学、言語学、
国際社会学、国際関係論、日本学、
比較文化学などさまざまな分野で
活躍されている第一線の研究者の
参加を得て開かれることになって
います。このたびの企画が阪神大
震災からの復興途上の国際文化都
市神戸のいっそうの活性化に少な
からず貢献できるものと
信じます。

第2回 日本消化器 Helicobacter pylori 研究会

4月16・17日
以上シンポジウムやパネル
ディスカッションでは各々のエキス
パートによる特別発言が予定され
ており、ホットな内容になること
と思っております。



胃粘膜に付着する細菌ヘリコバク
タリピロリと胃炎との関連性が
気づかれてから、はやくも十年が
過ぎました。一九九四年二月には
アメリカ合衆国の国立衛生研究所
(NIH) からヘリコバクターピ
ロリは胃癌の原因のひとつであ
るとする評価がなされてい
ます。
このような状況におきまして、
一九九五年四月には日本消化器
病学会関連研究会として、第一回
日本消化器 Helicobacter pylori 研究
会を自治医大消化器内科の木村健
教授を会長として東京で開催す
ることができました。多数の演題数
が応募され、欧米からは十題の特
別講演がなされ、活発な討論の場
をもつことができました。
さらに、一九九五年五月には日
本消化器病学会からヘリコバクテ
リピロリ治療カ
イドラインが発
表され、除菌療
法や診断薬の保
険適応を求めて、
治療が開始さ
れています。
このように、
H. pylori
の基礎的およ
び臨床的研究が
すすめられて行
く中で、本研究
会で行われる討
論は update
であり、今後の
H. pylori
研究に大いに
役立つものと思
われます。

静脈の病気は近代病のひとつ!!

静脈の病気は近代病のひとつ!!
静脈の病気は近代病のひとつ!!
静脈の病気は近代病のひとつ!!

ISO TC184/SC4&SC4/WGs神戸会議

6月9～14日
(プロダクトモデルの標準化に関する国際会議)

国内外の専門家百八十
名(海外十二カ国、百
三十名)が一室に会し、
機械製品、電気・電子
製品、航空機などのC
AD/CAMデータ交
換の世界標準の制定に
向けての技術的検討を
行う「ISO TC184/SC4&SC4/WGs
神戸会議」が、六月九日(日)
十四日(金)の六日間、神戸
国際会議場で開催される。

開催にあたって
実行委員会
杉村 延広
(大阪府立大学工学部教授)

日(水)の午前九時から、神戸
国際会議場 国際会議室で、「海
外におけるCAD/STP
の実用例」などについてセミ
ナーやデモンストレーションも
計画されている。
会議での主な討議テーマ
・標準部品・電子カタログの標準化
・製品データの内容の標準化
・標準化のための開発手法
・データの交換および共有方法
・データ交換処理システムの検証方法など

開催にあたって
会長 下山 孝
(兵庫医科大学第四内科教授)

内容と方法を制定するものです。
現在、多数の企業でCAD/C
AMシステムが利用され、各種の
製品の設計、生産、販売、保守な
どの省力化および自動化に貢献
しています。しかし、ワープロ作
成した文書と同じように、あるC
AD/CAMシステムで作成した
製品データを他のCAD/CAM
システムで読むことができないた
め、異なる部門あるいは異なる企
業間で製品データを交換するに
は共有することが非常に困難にな
っています。そのため、航空機、
船舶、プラントなど国際共同で計
画・開発しなければならぬ大規
模なシステムにCAD/CAMを
利用する際にデータを交換または
共有することができないため、大
きな問題となっています。この問
題を解決するために、CAD/C

胃疾患と関連する細菌
ヘリコバクターピロリ

胃疾患と関連する細菌
ヘリコバクターピロリ
胃疾患と関連する細菌
ヘリコバクターピロリ

住宅復興支援

「KOBÉインターホーム」 9月4～7日

開催概要

- 会期** 1996年9月4日(水)～7日(土)の四日間
午前10時～午後5時(最終日のみ午後4時30分まで)
 - 会場** 神戸国際展示場 2号館
 - 出展対象** 輸入住宅・建材、高齢者・身障者対応住宅、建築材料、住宅設備・機器、家具・インテリア、リフォーム関連、エクステリア、建築設計システム(CAD)、景観材料その他
 - 出展料** 屋内1小間(3m×3m)28万円、屋外2万円(1㎡)
 - 入場料** 500円(招待状持参者は入場無料)
 - 主催** (財)神戸国際交流協会、日刊工業新聞社
 - 共催** 神戸市住宅供給公社
 - 入場見込数** 7万人
 - 関連行事** (予定)
(1) 記念講演会 通商産業省、建設省
(2) セミナー 耐震住宅、輸入住宅とインテリア、高齢者対応住宅、省エネ住宅などをテーマに開催
(3) ワークショップ 内外の出展企業・機関による製品説明会
(4) 住宅見学会 輸入住宅展示場(六甲アイランド)
(5) 住宅相談コーナー 総合的な住宅情報の提供・相談
- ◎お問い合わせ先 神戸国際交流協会見本市部
☎078-303-0029

「KOBÉインターホーム'96」は、一九九〇年にスタートして以来、今回で七回目を迎えますが、この間、国内及び海外の企業・団体の参加を得た住宅、設備、建材など西日本の代表的な住宅関連見本市に成長してきた。

今回は、阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた住宅の早期復興のため、「住宅復興支援」のテーマのもとに、①耐震・免震技術、②輸入住宅、③高齢者・身障者対応住宅(バリアフリー住宅)、④省エネ住宅などを柱として開催する。



「KOBÉインターホーム '95」屋外会場



「ビルダーズ・ショー」会場

米国最大の住宅見本市

「ビルダーズ・ショー」

今年の九月に、神戸国際展示場で行われる住宅見本市「KOBÉインターホーム'96」の海外出展プロモーションのため、一月二十六日から二十九日まで、テキサス州ヒューストン市アストロドメイン・コンプレックスで開催された、NAHB(全米ホームビルダーズ協会)主催の「ビルダーズ・ショー」に参加した。

このビルダーズ・ショーは、米国最大の住宅見本市で出展企業は千社以上、来場者は世界七十二カ国から六万七千人に上る。

アストロドームを中心にした四か所に分かれた会場の広さ、人通りの多さ、熱気はまさに圧巻。展示ブースも大きく華やかで、中には噴水や弦楽の生演奏付きのものも。いかにもアメリカらしいお祭り騒ぎの中、一人でも多くの出展者と会うべくパンフレットの束を手に歩き回った。

輸入住宅ブームに伴い近年日本からの来場者が増えているというところだが、巨大な会場を奔走した一日を通して、出展者側からも日本市場への潜在的な意欲を確かに感じ取ることができた。

よみがえる地場産業

「ケミカルシユーズ」

ケミカルシユーズは、神戸の最有力の地場産業であるが、昨年の阪神・淡路大震災では、約八十%の企業が全壊・全半壊するなど大きな被害を受けた。

しかし、復興への立ち上がりは早く、昨年の五月には神戸ファッション産業復興合同見本市に参加したのを始め、

5月16・17日

十月及び今年の一月には、国際展示場で震災前とほぼ同じ規模の見本市を開催してきた。現在では、生産や販路の回復など多くの課題を抱えながらも約九十%の企業が業務を再開している。さらに、ケミカルシユーズ業界として「くつのまち」ながた構想」を提案し、まちづくりと一体となった産業の復興を進めるなど復興に向けた懸命の取組がなされている。



1月17日に行われた見本市開会式

この五月十六日(木)・十七日(金)にも、「96秋冬・日本ブランドシユーズコレクション」の開催を予定しているが、今回の見本市が復興元年を迎えた業界の一大復興事業として、また、神戸から発信されるシユーズファッションの新たな息吹を全国の人々に感じとってもらい催しとして、多くの成果を収めることが期待される。

(神戸市産業振興局商工課)

神戸市産業貿易展示館(サンボーホール)

5月から営業再開

神戸市産業貿易展示館(サンボーホール)は、阪神・淡路大震災から一年四か月の間、神戸市の仮事務所として使用中でしたが、漸く五月から営業を再開することになりました。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

1年4か月ぶりに営業を再開するサンボーホール



編集後記

阪神大震災以降これまでは関係各位の皆様のご支援に支えられて多くのコンベンションが神戸で開催されてきました。しかしいつまでも甘えてはおられません。もっと地元から積極的に情報発信し動いていかねばと思います。そこで、当協会コンベンション事業部では今年、国際会議誘致キャンペーンを展開する予定です。そしてあらゆる機会をとらまえて「神戸で会議を」と呼びかけて参りたいと考え、その

一貫として、本紙でも今回からコンベンション開催にご尽力頂いている各界の方々にご登場頂き、「神戸で会議を」と題しメッセージを発信することにしました。初回は、ご活躍を拝見し、是非ともご登場を、と願っておりました遠藤日銀前神戸支店長(三月二十五日付で本店電算情報局長)からメッセージを頂戴することができました。

今後も紙面充実に鋭意努めて参りますので今年度もよろしくお願ひ申し上げます。

21世紀へ飛躍する神戸経済の殿堂「神戸商工会議所会館」

(神戸国際会議場に隣接)

—各種コンベンションにご利用下さい—



ホール・会議室では講演会・セミナーから国際会議・各種展示会まで参加人数や催物の目的に応じて多彩にご利用頂けるよう最新の設備と各種機器を備えています。

- ホール1室3タイプ教室型(90、150、264名)162～452㎡
- 特別会議室3室定型(28、16、18名)49～97㎡
- 一般会議室3室6タイプ教室型(45、36、84、90、126、180名)90～326㎡

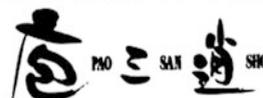
神戸商工会議所
〒650 神戸市中央区港島中町6丁目1番
●お問い合わせ ☎078(303)5804

明日のお仕事、神戸のどちらですか?
スタートラインは北上ホテルから



大型車 駐車可
朝食は、評判の中華朝粥

シングル ¥7,500～
ツイン ¥12,500～
ダブル ¥12,500～



神戸市中央区加納町4丁目8-19

ご宴会078-360-2267 宿泊078-391-8781